

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健所費 目：保健所費

事業名 災害時健康危機管理支援チーム活動事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 健康福祉政策課 管理調整係 電話番号：058-272-1111(内3214)

E-mail：c11221@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 25 千円 (前年度予算額： 26 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	26	13	0	0	0	0	0	0	13
要求額	25	12	0	0	0	0	0	0	13
決定額	25	12	0	0	0	0	0	0	13

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

災害時における被災都道府県の保健医療福祉調整本部及び被災都道府県等の保健所の指揮調整機能等における業務を補助するため、災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の体制整備及びその活動が平成30年3月に定められた。

令和4年には、都道府県の保健医療福祉調整本部の強化等を行う「統括DHEAT」を任命し、任務に当たることとされ、その養成及び資質の向上を目的とした研修に参加し、本県のDHEATの運用体制を強化を図る。

(2) 事業内容

- ・統括DHEAT研修への参加
開催場所：東京

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	25	研修参加旅費
合計	25	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

災害が発生した際に、保健医療福祉調整本部の設置やその強化、及び被災保健所との連携強化や受援、並びにそれらのための平時の活動を行うことができる。

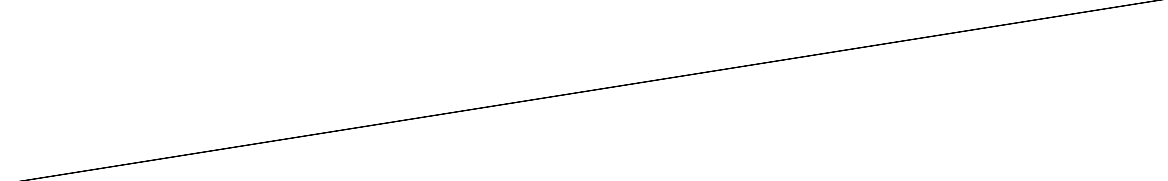
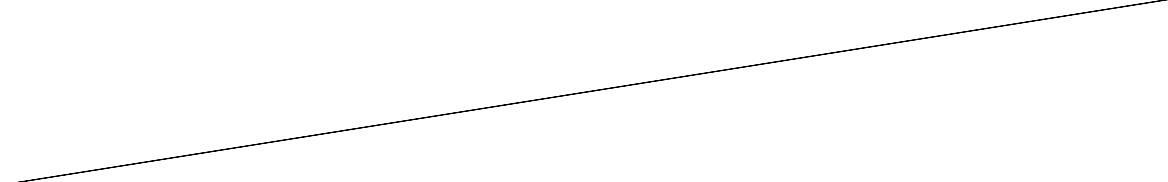
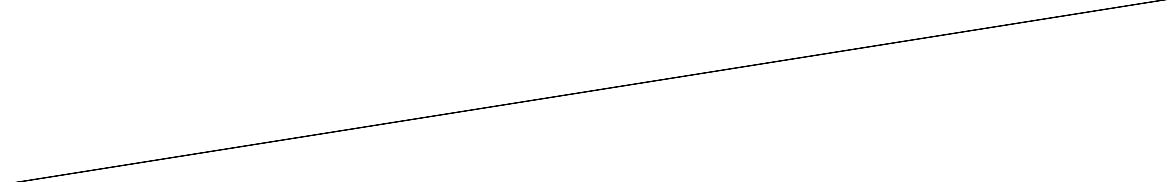
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

災害が発生した際の活動にかかる研修への参加のため、指標の設定は困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	災害発生時に、統括DHEATは保健医療福祉調整本部の機能強化並びに被災保健所等との連携強化を行い、保健医療行政の指揮調整機能等の支援に従事するため、統括DHEATの対応力向上を目的とした研修への参加が必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	予定していた統括DHEAT研修に、滞りなく参加することができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 1	令和7年度と同様の手順にて、統括DHEAT研修へ参加する。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 統括DHEATの変更があった都度、研修に参加し本県のDHEATの運用体制を強化を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	